



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ

AEON

2024年9月18日

イオンスーパーセンター株式会社
イオン東北株式会社



～にぎわいあふれる東北の未来をつくる～

9/24(火) 三陸鉄道 「にぎわい東北号」出発式と寄付金贈呈式のご案内

イオンは、三陸鉄道株式会社（岩手県宮古市 代表取締役社長：石川義晃 以下 三陸鉄道）のご協力のもと、「にぎわい東北号」出発式ならびに「にぎわい東北三陸鉄道コラボティッシュ」の販売による寄付金贈呈式をおこないますので、ご案内申し上げます。

三陸鉄道では、東日本大震災後2014年より、岩手県三陸地域における復興のシンボルとして三陸鉄道リアス線「久慈駅」から「盛駅」までの全線で運行を再開しています。

イオンでは2014年の運行再開に併せ、電子マネー「WAON」のラッピング車両を運行してまいりました。本年度の運行に際し出発式にて、新たなデザインの「にぎわい東北号」をお披露目させていただくことで、三陸地域へお越しいただく楽しみの創出と、更なる三陸鉄道への支援を続けてまいります。

併せてイオンでは、2015年4月に、三陸鉄道の全線運行再開1周年を記念して「三陸鉄道コラボティッシュ」の販売をスタートいたしました。この取り組みは、お客さまが1パック（5個入り）をお買い上げいただくごとに、2円を三陸鉄道に寄付をさせていただく企画として継続をし、復興支援の一助にと、ご支援とご好評をいただいております。

今回は、2021年2月から、2023年7月までの期間のお買い上げにより、お客さまからお預かりした寄付金22万7,200円を贈呈いたします。



「にぎわい東北」ラッピング車両デザインイメージ

イオンはこれからも、にぎわいあふれる東北の未来に向けて、地域の皆さまと手をたずさえ、グループ丸となつてともに歩んでまいります。



にぎわい東北
— つなげよう、ふるさとのチカラ



■「にぎわい東北号」出発式・三陸鉄道パッケージBOXティッシュ寄付金贈呈式概要

日 時：2024年9月24日(火) 13:30～14:00
場 所：三陸鉄道宮古駅2番線ホーム（岩手県宮古市宮町1丁目1-80）
出席者：三陸鉄道株式会社 代表取締役 石川 義晃 様
イオンスーパーセンター株式会社 代表取締役社長 矢木 健太郎
イオン東北株式会社 岩手事業部長 佐藤 吉弘

ご参考

■ラッピング車両「にぎわい東北号」運行概要

車 両 名：「にぎわい東北号」

運行開始日：2024年9月24日

参加企業：イオン東北(株)、イオンモール(株)、イオンタウン(株)、イオンスーパーセンター(株)、
(株)サンデー、イオンビッグ(株)、イオンフィナンシャルサービス(株)、(株)イオン銀行

運行区間：三陸鉄道リアス線「久慈駅」～「盛駅」

■にぎわい東北 三陸鉄道コラボティッシュ販売概要

商 品 名：「にぎわい東北三陸鉄道コラボティッシュ」

販売価格：298円（本体価格）

内 容 量：1パック5個箱入り

販売店舗：東北地区の「イオン」40店舗「イオンスタイル」7店舗
「マックスバリュ」80店舗「イオンスーパーセンター」22店舗
「サンデー」25店舗 宮城県・福島県内の「ザ・ビッグ」21店舗
「ザ・ビッグエクスプレス」6店舗 合計201店舗

商品特長：・1パックお買い上げにつき2円が三陸鉄道の運行費として寄付されます。
・ティッシュの原料のうち約75%に、岩手県を中心とした東北地方の広葉樹を使用しています。



パッケージ
デザインイメージ

■「にぎわい東北」について



「にぎわい東北 — つなげよう、ふるさとのチカラ」

震災から13年。安心してらせる一日一日の積み重ねが笑顔あふれる未来につながる。日々のお買い物をはじめ、地域のくらしのあらゆるシーンによりそうことで、地域の皆さまの支えになっていきたい。「にぎわい東北」フェアをはじめ、生産者支援や雇用創出による地域産業の活性化、自然豊かで災害に強いまちづくりの実現に向けて。
イオンはこれからもグループ一体となって、地域の皆さまと手をたずさえながら歩んでまいります。